

1 県経済の規模と構造

平成 23 年の総供給（＝総需要）は 12 兆 3,102 億円で、総供給（県内生産額＋移輸入）のうち県内生産額は 9 兆 1,257 億円（74.1％）である。

また、総需要（県内需要＋移輸出）のうち、県内需要は 8 兆 7,423 億円（71.0％）である。

図 1 平成23年産業連関表からみた富山県経済の構造

(単位：億円)

		総需要		123102										
		県内生産額		91257				移輸入 31845						
		県内需要		87423				移輸出 35679						
		中間需要		43335		最終需要				79767				
総供給 123102	県内生産額 91257	中間投入 43335	中間生産物の取引 →産出（販売） ↓ 投入（購入）		県内最終需要						44088			
					家計外消費支出	民間消費支出	一般政府消費支出	県内総固定資本形成	在庫純増	調整項	移輸出			
					1496	24582	8691	9142	7	170	35679			
					粗付加価値		47922							
					家計外消費支出		1496							
					雇用者所得		22975							
					営業余剰		10515							
					資本減耗引当		10237							
					間接税－経常補助金		2699							
					移輸入		31845							

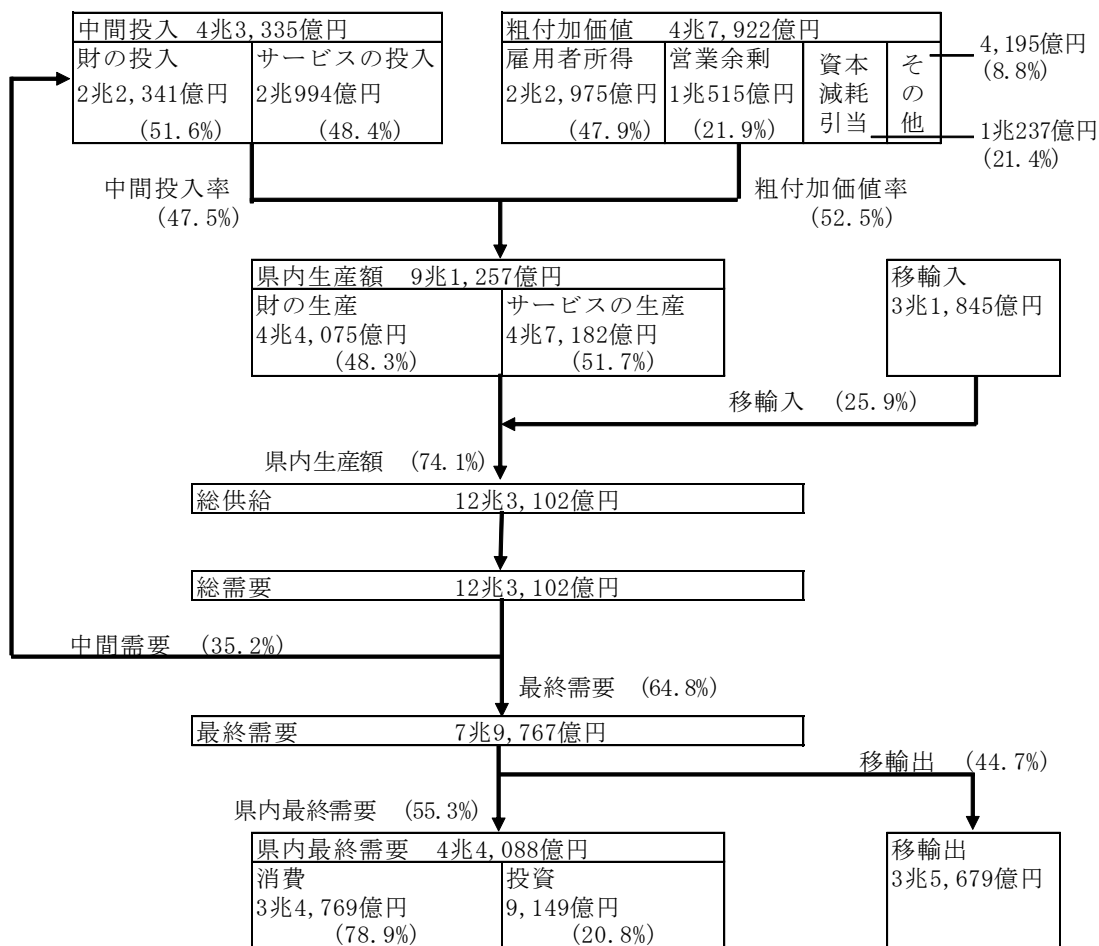
注：四捨五入の関係で、内訳は必ずしも合計と一致しない。

平成 23 年に県内で生産された財・サービスの総額（県内生産額）は 9 兆 1,257 億円である。そのうち 4 兆 3,335 億円(47.5%)が原材料等の中間投入であり、残りの 4 兆 7,922 億円(52.5%)は雇用者所得、営業余剰等の粗付加価値である。

総供給（＝総需要）は 12 兆 3,102 億円であり、総供給と県内生産額との差、つまり県内生産で足りない 3 兆 1,845 億円は移輸入で賄われる。

次に、需要側からみると、総需要のうち 4 兆 3,335 億円（35.2%）が各産業の生産活動に利用される中間需要（中間投入）である。残りの最終需要 7 兆 9,767 億円（64.8%）のうち、4 兆 4,088 億円（55.3%）は県内最終需要であり、消費・投資として県内で消費され、残りの 3 兆 5,679 億円（44.7%）は移輸出に向けられる。

図 2 平成23年産業連関表からみた財・サービスの流れ



- 注： 1 37部門表による。「財」は01～41及び68の合計、「サービス」は46～67及び69の合計である。
 2 ここでいう、「消費」とは、家計外消費支出、民間消費支出及び一般政府消費支出をいい、「投資」とは、県内総固定資本形成及び在庫純増をいう。
 なお、「県内最終需要」には、消費及び投資のほか、「調整項」の額を含む。
 3 四捨五入の関係で、内訳は必ずしも合計と一致しない。
 4 () は、構成比を示す。